

平成30年度 第2回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	平成30年10月1日（月）午後1時30分より
開催場所	健康文化センター 1階 多目的室
出席者名	議会議員代表 3名 民生委員・児童委員代表 2名 保護者代表 8名 事務局 10名
次第	1 委員長挨拶 2 健康福祉部長挨拶 3 協議事項 (1) 大口町立保育所の定員の見直しについて（資料1） (2) 保育所利用承諾期間について（資料2） (3) 大口中保育園民営化達成状況について（資料3） 4 その他

（進行：福祉こども課長）

委員長 部長	1. 委員長挨拶 2. 健康福祉部長挨拶
-----------	-------------------------

（進行：委員長）

事務局	(1) 大口町立保育所の定員の見直しについて（資料1） <ul style="list-style-type: none"> ・近年の保育ニーズの動向を踏まえ、当面の対応として町内保育園の定員を見直すものである。 ・今回の見直しは、保育園の保育室で面積基準を満たす範囲内で、各保育園の定員を増加させるものである。西保育園の未満児の定員を現在の45人から60人に、北保育園の以上児の定員を100人から140人に増加し、総定員を715人にする。 ・高まる保育ニーズに対しての各園での運用状況については、4月1日現在の園児数を各園の定員内で、未満児と以上児の枠を弾力的に変えることで柔軟に対応している。 (2) 保育所利用承諾期間について（資料2） <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の入所が多くなっているため、3歳児からの入所が厳しく
-----	---

	<p>なっている。在園児と新入園児の入所に係る公平性を確保すること及び各保育園の保育室の有効活用を図ることで、近年の未満児保育ニーズに対応するため、3歳未満児に係る現在の同一保育所への利用承諾期間を見直すものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の運用：入所時期にかかわらず、卒園時まで同一保育所へ利用承諾書を出しているため、0歳児に入所すれば卒園までの約6年間在園が可能である。 ・課題 <ul style="list-style-type: none"> ア 未満児入所が多い保育園では、入園している在園児が卒園まで在籍するため、3歳児から新たに入園を希望する園児の入所がし辛い状況にあり、公平性に欠ける。 イ 保育ニーズに柔軟に対応するために、以上児の保育室を未満児室として割り当てて運用している場合、保育室の数に上限があるために、未満児を受け入れるスペースは確保できたとしても、将来以上児になった時のクラス編成を考えると、安易に未満児を受け入れることが出来ない状況になっている。 ・運用改正案 <p>未満児で保育園に入所した場合の利用承諾期間を2歳児の年度末までとする。3歳児に進級する際に、新たに当該保育所を希望する3歳児との間で「保育必要指数」に基づき利用調整することになる。</p> ・利点 「公平性の確保」と「未満児受入れ人数の拡大」 ・欠点 兄弟で異なる保育園になる可能性が高くなる。 ・9月13日に開催した「大口町・子ども子育て会議」同様の議題を協議。継続審議。 <p>○質疑応答</p>
委員	<p>保育必要指数の高い、低いについて説明してほしい。</p>
事務局	<p>参考資料3に基づき説明</p> <p>「家庭状況表」就労証明や聞き取り等状況に合わせて「教育・保育施設及び地域型保育事業に係る利用基準」を使用している。利用調整指数合計が高いほど保育の必要性が高いという判断をしている。</p>
委員	<p>兄弟が異なる保育園に通う可能性はあるか。</p>
事務局	<p>可能性としてないとは言い切れない。園が違うことで困っている方もいれ</p>

	<p>ば待機児童で困っている方もいる。現在入所している保護者は、進級時に再度申請をすることにより、保育園を変わらなければならないという心配が出てくることは否定できない。兄弟の件を含めた家庭状況表の見直しを行うが、兄弟が離れるリスクも否定できず、在園児保護者の不安な思いは十分理解している。しかし、一方では、新たに入所希望を出す保護者も困っているため、苦渋の思いで提案をしているということを理解いただきたい。</p>
委員	<p>今現在、異なる保育園に通っている兄弟はいるのか。</p>
事務局	<p>30年度においては発生していない。昨年度、未満児の途中入所希望時には、第2希望、第3希望の保育園になり、兄弟別々になった方もいる。</p>
事務局	<p>(3) 大口中保育園民営化達成状況について（資料3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口中保育園が平成26年度から民営化。5年目となる今年度の一つの区切りとして、これまでの5年間の振り返りを行い、皆様方からご意見やご提案を伺う機会を設けた。
大口中保育園 事務長	<p>大口中保育園事務長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3「平成30年度 大口中保育園民営化達成状況確認シート」に基づき説明。 ・保育方針・保育目標について ・項目（保育内容、園の安全対策、衛生管理、地域活動への取り組み、職員研修、延長保育、保護者とのコミュニケーション及び父母の会との関係、統合保育）に対しての民営化応募時の提案内容についての自己評価と取り組み内容。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールについて説明。各委員の意見を取りまとめ、平成30年度第3回大口町保育所運営委員会にて確認、総括。